

メラメラ 情熱メラキ

第3号

SSH生徒研究発表会

多摩高校3年生の土屋和佳奈さんと高橋知里さんは、8月7,8日に神戸で行われた全国SSH生徒研究発表会に学校代表として出場しました。そして発表の補助として、有志の1年生2人と2年生3人が同行しました。当日は朝早くに集合しなくてはならなかったため、前日の8月6日に神奈川県を出発しました。なので、実際は2泊3日の神戸研修旅行という感じです。

8月6日当日。午前8:30に新横浜駅で集合した私達は、30分後の新幹線に乗り、神戸へと旅立ちました。



神戸国際展示場前にて 多摩高校参加者の集合写真

行程は次の通りです。

8月6日(火) ポスター展示準備

8月7日(水) 開会式、基調講演、
ポスター発表
講評、全体発表校選出

8月8日(木) 全体発表校による口頭発表
ポスター発表、片付け、
表彰、全体講評、閉会式

新神戸に到着した私達は、駅直結のANAクラウンプラザホテル神戸に不要な荷物を預け、新神戸から三ノ宮へ電車で移動し昼食を食べました。低コストで神戸牛を堪能すべく、「神戸たん龍」という焼肉屋に行きました。皆で食べた神戸牛は脂がのっていてとても美味しかったです。



その後電車で会場の神戸国際展示場に向かい、ポスター発表に向けての準備を行いました。準備が終わったら、一度先輩の発表のリハーサルをして、ホテルへ戻りました。私達が宿泊したホテルは本当に綺麗でした！ 2~3人で一部屋使用したのですが、部屋にはもちろんテレビがあり、ベッドがありました。Wi-Fiはホテルの中ならどこでも繋がったのでとても便利でした。ホテルの地下にはスーパーと100均がありました！ さらに、ホテル内には24時間無料で使えるジムもあって、ただただ驚くばかりでした。

2日目はまず、京都薬科大学名誉教授の桜井弘先生の基調講演をききました。科学のそれぞれの分野で活躍した人物についての講演でした。内容は難しかったですが、周期表やメンデレーエフについての今まで習ったものの中の、周期表が出来るまでの過程やメンデレーエフの生い立ちや努力などの知らない話ばかりでとても興味深かったです。

午後はポスター発表が行われました。全国のSSH指定校218校だけでなく、海外10カ国23校も参加していました。

多摩高校は「納豆菌で日焼け止めを分解できるのか」というテーマで発表しました。内容が身近なこともあって、注目を浴び、先輩方は最初から最後までほとんど休むことなく発表をしていました。発表後にはより関心をもってもらえたのか、質問が多くありました。



3日目は2日目に選出された全体発表校の口頭発表がありました。全体発表校6校の中で文部科学大臣表彰、つまり最優秀賞に選ばれた、東京都立小石川中等教育学校は大きく印象に残りました。そこでは、「変形菌イタモジホコリの変形菌による自他認識行動」というテーマで発表を行っていました。イタモジホコリとは全長15cmほどもある巨大な単細胞生物で、粘菌という菌なのですが、成長が盛んな変形体になる時期があり、同じ種類の変形体が近づくと融合することがあります。当日の発表では、異なる種類の粘菌を近づけると融合しないで遠ざかり、自分の体の一部同士が近づくと同じ種類と認識して融合する様子が動画で示されていました。このように、自分と同じ種類の粘菌であるかどうかを確かめる行動、それを自他認識行動といいます。高校生とは思えないほど、詳しくそして丁寧に研究していました。その後もう一度ポスター発表を行い、閉会式をして生徒研究会は幕を閉じました。3日間短い間でしたが、全国の高校生の研究発表を見ることができて、学ぶことも多くありました。みなさんもぜひ行ってください。

原稿作成 1-7 若月温実、富田冨

新聞作成 1-2 茂木悠誠